

APNIC Update

第40回JPNICオープンポリシーミーティング(2021/6/25)

APNIC51(2021/2/22-3/4)



APNIC50に引き続き完全オンラインでの開催となりました。
(もともとの候補地はフィリピン・マニラ)

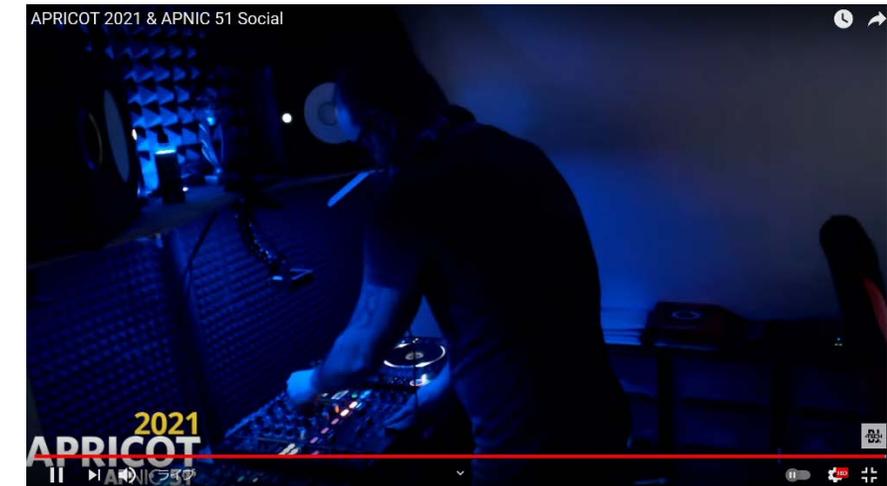
参加方法：Zoom/YouTube Live

参加者数

93カ国(経済圏等含む)

633名

→コロナ禍以前は700名前後の為人数は微減？



プログラムについて

- **Tutorial Week(2/22-26)**

RPKI, Network Monitoring, Wireless, IPv6, BGP, DNSSEC etc...

- **Conference Week(2/28-3/5)**

- SIG(Special Interest Group)

Cooperation , Policy, NIR, Routing Security

- Technical

APOPS, Security, Network Operation etc...

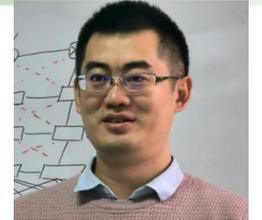
- 他団体関係

RIR, NOG, Peering Forum, APIX DotAsia etc...

APNIC EC選挙結果

IIJ/JPNIC理事の松崎吉伸氏が再選

- Achie Atienza氏(Globe Telecom/フィリピン)
- Feng Leng氏(CNNIC/中国) ★
- Gaurab Raj Upadhaya氏(Amazon/ネパール) ☆
- Kam Sze Yeung氏(Akamai Technologies/香港)
- Kenny Huang氏(TWNIC/台湾) ☆
- 松崎吉伸氏(IIJ/日本) ☆
- Paul Wilson氏(APNIC事務局長/オーストラリア)
- Sumon Ahmed Sabir氏(Fibre@Home Limited/バングラデシュ)



☆は再選、★は初当選

アドレスポリシーに関する議論

Confer (<https://confer.apnic.net>)を使ったコンセンサス確認運用開始

Proposals:

Test Proposal

prop-130:
Modification of
transfer policies (IPv4
only)

prop-130:
Modification of
transfer policies (IPv6
only)

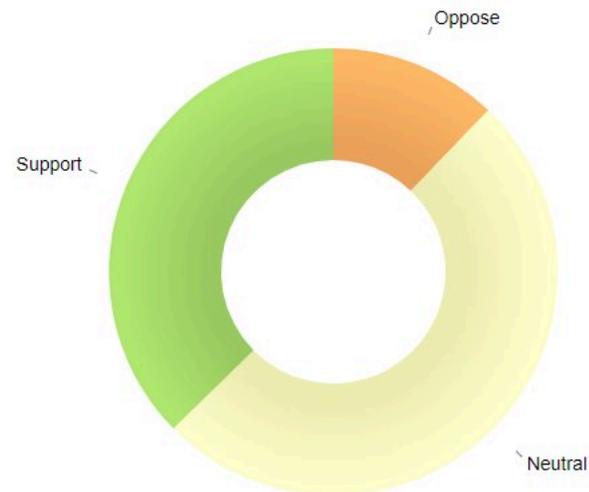
prop-130:
Modification of
transfer policies (ASN
only)

prop-133: Clarification
on Sub-Assignments

This proposal is not currently under discussion. There is no current proposal under discussion.

This is the online consensus for proposal: Test Proposal.

"This is a test proposal for practice session."



アドレスポリシーに関する議論②

新規提案はなく、継続議論2件(APNIC49で継続議論になったもの)を議論

コンセンサス

prop-133 : 「再割り当ての定義明確化」

<https://www.apnic.net/community/policy/proposals/prop-133>

コンセンサスに至らず、廃案

prop-130 : 「移管ポリシーの修正」

<https://www.apnic.net/community/policy/proposals/prop-130>

prop-130 : 「移管ポリシーの修正」 (Modification of transfer policies)

APNIC48から継続議論

- **提案による変更内容**

セクション8.4.「合併と買収の記録」、セクション11.0.「IPv6の移転」、セクション13.3.「AS番号の移転」について、移管可能なシチュエーションを明記する(合併・部分合併・事業買収・継承・組織の再編成・事業拠点の変更)。APNIC地域外を含むケースでも、対応するRIRにポリシーが存在する場合は、これを認める。

- **提案の目的**

APNIC48時点で提案者はIPv6の移管制度実現を主目的として主張
→今回はポリシー文書内での定義明確化・IPv4/IPv6/ASの文言統一を主張

prop-130 : 「移管ポリシーの修正」 (Modification of transfer policies)

- **APNICの影響予測**

- RIR間移転の場合、言語・法体系の違いから整合性確認が難しい
- IPv6の逆引き情報は他のRIRと共有できていないので開発が必要

- **議論**

- 移管の定義を明確化してしまうことで、抜け道的手法を発見されてしまい、グレーなアドレスの移動が発生するのは防ぐ必要がある
- 現行の制度で困っているという事例は聞けない

結果 コンセンサスを得られず廃案(3度目のポリシー議論の為)

→提案者は意欲変わらず、番号を振り直して再提案を予定

prop-133 : 「再割り当ての定義明確化」 (Clarification on Sub-Assignments)

APNIC49から継続議論
(prop-124として
APNIC48で棄却)

- **提案による変更内容**

セクション2.2.3 割り当て

旧：割り当てはLIRおよびエンドユーザーに行われ、割り当てられたIPアドレスは、申請者やエンドユーザーが申請した目的のみで使用されるものであり、再割り当てを行うためのものではない。

新：割り当てはLIRおよびエンドユーザーに行われ、割り当てられたIPアドレスは、運用するネットワーク内で排他的に使用されるものである。

- **提案の目的**

現行の文言だと、大学などでインフラ用として申請された割り当てIPアドレスをゲストWi-Fiとして利用するのが違反になってしまうため。(IPv4ではプライベートアドレスを使うため発生しないがIPv6ではGUAを利用する為発生しうる。)

prop-133 : 「再割り当ての定義明確化」 (Clarification on Sub-Assignments)

- **APNICの影響予測**

影響なし

- **議論**

ISP等のPAアドレスの割り振りや通常の割り当てに関しては影響が無い事を説明→一定の理解を得た

結果 コンセンサス

2021/4/12 最終コメント期間終了

2021/4/23 APNIC EC の承認

2021/5/28 編集コメント終了・実装完了

次回以降のAPNICミーティング

- **APNIC52**

日時：2021年9月13日(月)-16日(木)

場所：オンライン(札幌開催は延期)



- **APNIC53/APRICOT2022**

日時：2022年2月21日-3月4日

場所：東南アジア(仮)

参考：APNICミーティングはどこで開催されるの？

<https://blog.nic.ad.jp/2021/5846/>

APNICミーティングWebページ

<https://www.apnic.net/events/conferences/>